



# サッカー班活動報告



## 新人選手権大会戦

11月13日(日)行われました、私立芝高等学校との新人選手権大会の結果をご報告いたします。

◇ 前半 0-1

◇ 後半 1-2 6分

今日は、普段練習できていない土のグラウンドでの試合でした。以前は小山台高校のグラウンドも土でしたが、今年から人工芝になったので土のグラウンドに今までよりもうまく対応できず、なかなかボールが足元におさまらなかつたり滑ってしまつたり、うまくトラップができなかつたりなどが見られました。また風も強かつたため、砂埃が起きたりなどでなかなか苦戦するところが多かつたです。前半はお互いなかなか譲らない状況が続きました。相手に攻められている場面も何度か見られましたが、コーナーキックやシュート数は小山台の方が多く、1点PKで取られてしまったものの、攻めることができていたと思います。ハーフタイムでは、1年生や2年生などの学年は関係なく、お互い前半を通して思ったアドバイスやいいことを伝え合っていて、すごくいい雰囲気でした。後半20分で同点、残りの20分で逆転しようと顧問の先生から気合いが入るお言葉をかけていただき、選手たちももう2点取って逆転するというような意気込みでグラウンドに入り、後半をスタートさせました。後半は、相手のゴール前にボールを運べる回数が増えてきて、何度かシュートを試みている場面があり、コーナーキックでは前日練習したことを踏まえて取り組むことができていました。後半6分では、ゴール前にパスを試みましたが相手にカットされてしまいとても惜しい場面でした。その直後、そのボールを2年生がおさめて相手をうまく交わしてゴール前にセンタリングすることができ、最後はヘディングでボールをゴールに押し込み得点しました。相手に点を取られていたので、同点にすることができてホツとしました。しかし、後半20分を超えたあたりから、疲労でみんなの集中力が切れてしまったのか、相手に抜かれたり、シュートを押し込まれてしまいそうになったり、うまくボールをクリアできなかつたりと危ない場面が何度かありました。後半29分、38分で相手に2点入れられてしまいました。しかし、キャプテンを中心に選手達が最後まで声を切らさず、諦めちゃだめだよ、まだ終わっていないなどの言葉をかけていたことがとても印象的でした。その気持ちが選手全員に伝わり最後まで戦い切れたのではないかと思います。

今回の新人戦は保護者の方々にも観戦していただくことができ、班員一同とても嬉しく思います。初めて試合後に、保護者の方々へありがとうございましたと挨拶ができたことはとてもいい思い出になりましたし、選手達も次の試合も頑張ろうと思える、活力にもつながったと思います。

今回の試合は負けてしまいましたが、来年度にはインターハイ、今の2年生の何人かにとっては引退試合にあたる大会があります。それまでに今回の試合で得られた良いところはとことん伸ばし、反省点は日々のグラウンドでの練習、林試でのランニング、体幹トレーニングなどを通して補って行って欲しいです。引退試合ではみんなで笑って保護者の皆様へありがとうございましたと感謝を伝えられるよう、選手、先生、マネージャー一同、一丸となってまた頑張っていきます。本当にたくさんの応援ありがとうございました。引き続き応援よろしくお祈いします。



**令和4年11月13日**